

## 技術管理課

### 1 建設産業の活性化

#### (1) 担い手確保の取組

建設産業の担い手が減少していることから、若者に建設産業の魅力を伝える出前講座や『滋賀けんせつみらいフェスタ』の実施、誰もが働きやすい環境であることを伝える広報動画の制作など、官民が連携して、担い手確保・育成に関する施策を進めています。また、YouTubeを活用した動画配信により、建設産業の魅力を広く発信しています。



県内建設産業就業者数  
(出典:国勢調査就業状態等基本集計より)



官民が連携したイベントの開催  
→滋賀けんせつみらいフェスタ



女性技術者の活躍を表彰



SNSを活用した動画配信による魅力発信

#### (2) 建設現場の生産性向上推進 ～インフラ分野のDX推進～

ドローンによる3次元測量・被災状況の確認、建設機械の操作支援、3次元図面および建設現場の遠隔臨場など、ICTを様々な場面で駆使して、わかりやすい住民説明、工事の省力化および効率化、安全性向上に取り組んでいます。



ICT/バックホウによる法面整形  
(仕上げ形状データを機械に入れて操作支援)



現地写真



3次元化図面  
ドローンで撮影した災害状況写真(上)  
3次元化した図面(下)



従来管理

法面の従来管理は非常に危険で大変な作業(左)



ドローン撮影



3次元点群データを活用して、若手・女性技術でも安全に効率よく現場管理(右)

3次元点群データ活用

#### (3) 建設業界の働き方改革の推進

働き方改革による建設産業の職場環境の改善に取り組んでいます。主要な取組は以下のとおりです。

- 提出書類の簡素化と、受発注者間における資料作成の役割分担を明確化するため、マニュアル類を整備
- 毎週土日に加え、祝日も休暇日とする工事を発注
- 柔軟な工期設定が行える余裕期間制度の導入



### 2 社会の変化やニーズに応じた公共事業の推進

#### (1) グリーンインフラの推進

- グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能(防災・減災、地域振興、環境保全)を活用し、持続可能で魅力ある県土づくりを進める取組のことです。
- 滋賀のグリーンインフラを推進するために、国の最新の知見を活用しながら、生物・環境の専門家との議論等を通じて滋賀独自のデータマップも整備し、グリーンインフラ取組方針を策定します。



多様な主体の協働による小さな自然再生  
新大宮川(大津市)における魚道の復活



滋賀が取り組む  
グリーンインフラ事例集

#### (2) 技術系職員の技術力向上

- 自然災害の激甚化・頻発化や社会資本の老朽化など、社会を取り巻く技術的な課題の解決に向けて、果敢にチャレンジできるマインドと能力を持つ職員の育成が必要です。そのために、総合土木に関する専門的な知識や技術の習得だけでなく、国・県の施策や時事問題への関心・理解を促進する研修を行っています。



技術系職員の研修風景